

第34回 放送番組審議会 議事録

- ◆開催日：2021年3月16日（火）10:00～12:00
- ◆場所：株式会社ジェイコム札幌 本社 3F 会議室
- ◆出席者：【放送番組審議委員】6名中4名出席（2名欠席）
 - 山本 強 様（会長）
 - 星野 尚夫 様（委員）
 - 北野 宏明 様（委員）
 - 阿部 夕子 様（委員）

【株式会社ジェイコム札幌】

岩本 好正 代表取締役社長
金石 励正 取締役管理部長
村瀬 誠 地域コミュニケーション部長
中島 隆 地域コミュニケーション部マネージャー
雨尾 俊英 地域コミュニケーション部マネージャー（地域プロデューサー）
國木・賀川・織田 事務局

記

・J:COM 札幌 岩本社長 挨拶

前年度は、コロナの影響により放送番組審議会の実開催は出来ず資料により開催いたしました。今回の開催についても新型コロナウイルスに関しては、少し鎮静化の兆しも見え、3月7日に「集中対策期間」も終了いたしました。このような中で、「北海道スタイル」を実践し、リスクを認識しながら、正しく恐れて正しく予防に努めて、感染予防の徹底を図りながら、感染拡大防止に努めていきたいと思っております。

また、コロナの影響で、スタジオの収録、イベントや地域スポーツ関連の中止により番組内容の変更を余儀なくされリモート出演収録を増やすなど、番組制作を行ってまいりました。編集についてはアクリル板で仕切るなど行い感染拡大防止を図りました。

さて、当社は、1988年4月に開局以来、今回で34回目の放送番組審議会開催となりました。現在、サービス提供可能世帯数が約84万5千世帯となり、札幌市内エリアカバー率は約88%となります。引き続き、皆様のご支援のもと、社員一丸となってインフラ環境の整備と地域の皆様に必要とされるようなサービスを提供してまいり所存でございます。

一方、コミュニティチャンネルの動向としましては、「地デジ10chのJ:COMテレビ」、そして、「地デジ11chのJ:COMチャンネル」、この2つを武器に、地域情報を中心に編成の充実を図ってまいります。

後程、本日は、「地デジ11chのJ:COMチャンネル」の自社制作番組を具体的に説明させていただきますので、皆様の忌憚りの無い、ご意見を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

・コミュニティチャンネルの報告

（1）J:COM加入（視聴可能）世帯数の概略

J:COMグループ全体、及びJ:COM札幌の概要を説明

（2）2020年度の編成サマリーの説明

(3) J:COMチャンネル札幌 11ch (札幌で放送)

2020年度 コミュニティチャンネル自主制作番組実績報告

- ・新規レギュラー番組「ジモト応援！札幌つながるNEWS」概略説明
- ・特別番組の概略説明
- ・コロナウイルスでの緊急事態宣言発令以降における対応状況説明
- ・国交省河川カメラ映像の放送配信について

・番組編成に関する意見交換

(会長) コロナ禍で、ステイホームで家にいる時間が増え、日常で動く範囲が制限され、このご時勢、近くの情報価値がある時代になった。以前はグローバルな情報が多く、北海道、札幌を訪れる方へケアすることが求められ今はローカルの対応力が必要。これまでの活動、番組作りが生きる活用される場が出てきている。コロナの情報は情報の戦いになっている。一般のマスコミは首都圏の情報を中心に流して全国一律の情報で、ジェイコム札幌は地元根付いたメディアがあることが重要で情報発信していくことが大切である。

(委員) 「おまかせサポート」を利用して、すぐに対応して頂いて非常に便利で良いものと思う。ローカルの番組ニーズがあり、それぞれの家庭の中とつながりをサポート出来る設備、番組編成となっていると思う。

(委員) コロナの情報の重要性を、端的によくできていると思う。ど・ろーかるの取組みは多面的で内容が濃い。一方、札幌市民、一般へのアピールはまだまだで努力する価値があり折角いいものを作っていて、もったいない。

(委員) 札幌の地域に根ざして、ローカルな番組が多いと感じた。札幌人図鑑は人と会うと特に出演したこともあり反響が良く、札幌としてコアの番組の一つで、その次にくるレギュラー番組に期待している。

そろそろ、動きも活発になっているが、おうち時間の情報より、外へ出られる楽しい情報と感染対策がしっかりしているところの情報を知りたい。

(委員) このコロナ禍の状況で地域の情報対応が早い体制ができている。

番組をザッピングしている中で折角の情報やコンテンツがあるのにもったいない。難しいが NET との連携を活用し、オンラインや深夜枠などを活用して一定時間に連携出来る対応、地域のデリバリーや少年野球など NET と放送を平行して連携展開する。それがあれば逆に LIVE を視聴するようになるのでは？一瞬ではもったいない。

やっぱり観光は大事で、札幌に住んでいて気が付かない事、札幌の人が観光するコンセプトが重要になってくる。食の番組が出ているが、歴史や近くの山、海のコンテンツを我々自身が地域のメディアを通じて再発見することができないか。

(委員) コロナが始まり、おうち時間が多くあり、家にいて YouTube を見るが増えた。J:COM の番組のオフ的な部分を YouTube で流すとより一層興味がでるのではない？ SNS や YouTube の連携し番組希望する。

(事業者) NET との連携、ごく一部は UP しているが、制作している、すべての番組を流れるように仕掛けをしていきたい。

みなさんからご意見の通り PR が出来ていない、制作した番組が札幌市民の皆さんに知らせることが不足している、どのように知らせるかなど改めて考えて行かなければならない。

・閉会

以上